

踏み跡 <My Mountains>

茨城(多賀)	花園神社から花園山と栄蔵室	No.273
--------	---------------	--------



山の名前ゆえに、行って確かめて見たいと思う山がある。どこのエリアにも名前が魅かれる山は必ず存在するものだ。茨城県の山を調べている内に、不思議な名前の山をいくつか発見した。その内のひとつが栄蔵室(えいぞうむろ 881.6m 一等三角点)、「栄蔵という名の猟師がこの山に小屋を建てて猟をした」という伝承からこの名がついたと言う。花園山と合わせて一日の行程とし、大久保君を誘って車で出かけることにした。

平成8年11月16日

天気は晴。京葉線検見川浜駅に7時20分に集合、7時25分に出発。途中で国道16号線沿いのコンビニに立ち寄り昼食を調達し、柏ICから常磐自動車道へ。11月の快晴の空にくっきりと筑波山。

北茨城ICで下りる時に料金所のおじさんに花園神社への道を尋ねたら、地図をくれて細かな説明もしてくれた。花園神社駐車場に10時40分に到着。身支度を整えて、水を汲んで11時20分に出発。

花園神社は坂上田村麻呂創建という、樹齢五六百年の大杉がある。人が沢山入っており、中に奥の滝を見る目的で上流を歩いている人が何人かいる。神社の奥の鳥居から山道に入ると人の数は減ってきて、さらに七ツ滝の展望場所を過ぎてしまうと傾斜が急になってくるせいか誰もいなくなってきた。

花園山(798m)、風が強くて寒いので、風下の日だまりを探して腰をおろして昼食。我々二名のほかに登山者が二名、合計四名の静かな頂上。昼食の後、男体山・女体山を経て柳沢林道へ。

ガイドブックの記述によれば林道を20分位歩くと栄蔵室の登山口に辿り着けることになっているが、何と一時間半のアルバイトでようやく登山口に到達。

栄蔵室登山口は笹原の平原のような稜線。穏やかな起伏の散歩道のような歩きが続くが、標識はどこにも建っていない。途中から地形図を頼りに笹藪を強引に藪こぎして「栄蔵室」と書いた白い看板が建つ頂上に飛び出すことができた。海拔881.6m、三角点の脇に地元の山岳会が建てたと思われる白い大きな看板がぶっくらぼうに建っているだけで、他には何もない。(左写真)



時計を見ると15時ちょうど、しばし山頂のイメージを楽しんで下山開始。

日没に向かう空と闘いながら登ってきた道を下山。花園神社の駐車場に17時に帰着。帰宅準備をしていると、横に止まっている車の男に山のことを色々と尋ねられた。

話が弾んでいる内にどちらからともなく「どちらからいらっしゃったんですか？」

何と同じ団地の1丁目に住んでいるMさんという方だった。私は4丁目、全く面識がない方であるが、あまりの偶然に啞然として雑談がさらに弾んだひと時だった。

今朝と同じルートに戻って、集合地点である検見川浜駅で大久保君を下して解散。自宅帰着は19時48分だった。

以上